

# CORONA REPORT

つぎの快適をつくろう。

**CORONA**

第**74**期

中間報告書

2021.04.01~2021.09.30

証券コード：5909

## 中期経営計画で掲げた「コロナブランドの拡大と進化」に向け、 事業戦略と機能戦略の取り組みを進めました。

### ■ 事業環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による個人消費や企業活動への影響が続くなど、依然として厳しい状況が続きました。ワクチン接種など各種対策もあり、国内経済の持ち直しが期待されるものの、先行きは不透明であります。

住宅関連機器業界においては、住宅市場の一部回復が見受けられました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症や原材料価格の高騰、世界的な電子部品類の不足による影響などが考えられ、先行きは不透明感が増しております。

### ■ 中期経営計画に基づいた取り組みについて

当社グループは第8次中期経営計画の最終年度を迎え、「コロナブランドの拡大と進化」を推進キーワードに、基本戦略「既存販売チャネルでの事業領域拡大」「空調メーカーとしてのポジション構築」「持続的成長のための機能・基盤強化」に基づいた事業戦略・機能戦略の取り組みを進めました。

事業戦略では、既存の販売チャネルを最大限に活用するための商品カテゴリー拡大やラインアップ拡充、提供価値拡大に向けた商品開発や協業など、ビジネスチャンスの拡大に取り組まれました。また、ルームエアコンではIoT技術の活用や清潔性を追求した商品を投入するなど、ブランド力の強化や商品機能・性能向上の取り組みを進めました。

機能戦略では、特設サイト「CORONA快適LABO」を開設するなど、ブランディング強化の取り組みを進めました。

また、顧客接点の強化や管理間接業務の生産性向上、物流配送機能の最適化を進めるとともに、それらの活動を支える組織や人材育成の取り組みを進めました。

### ■ 第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間は、特にエコキュートの販売がZEHの普及や買い替え需要の取り込みなどにより好調に推移しましたが、ルームエアコンの販売減少等により、売上高は38,157百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。利益面については、原材料価格の高騰、世界的な電子部品類の不足等による影響がありましたが、住宅設備機器の販売が好調に推移したことや経費削減に取り組んだ効果もあり、営業利益は102百万円（前年同四半期比204.1%増）、経常利益は272百万円（前年同四半期比38.4%増）となりました。また、前年同四半期連結累計期間に計上した投資有価証券評価損などの特別損失が大幅に減少したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は194百万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純損失133百万円）となりました。



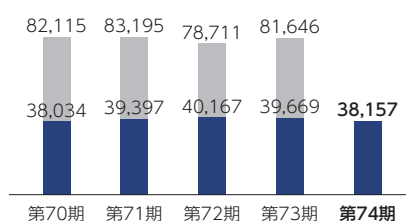
代表取締役社長  
小林 一芳

## 第2四半期業績ハイライト

### 売上高の推移(連結)

(単位：百万円)

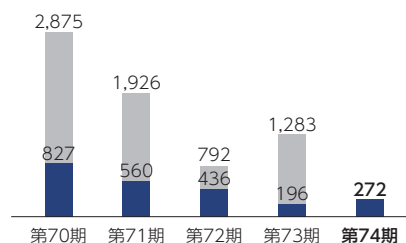
■ 第2四半期 ■ 通期



### 経常利益の推移(連結)

(単位：百万円)

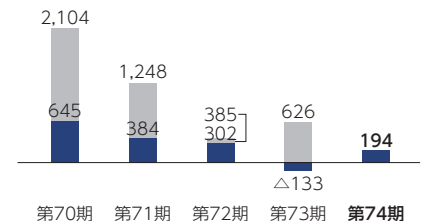
■ 第2四半期 ■ 通期



### 親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益の推移(連結)

(単位：百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



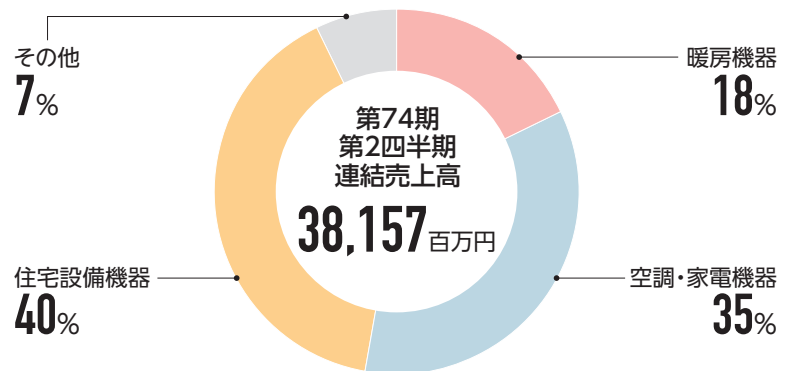
※ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。  
なお、第70期から第72期については「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。

## 第2四半期製品種類別情報

当第2四半期の連結売上高構成比は、暖房機器18%、空調・家電機器35%、住宅設備機器40%、その他7%でした。

当社グループは、通年商品の住宅設備機器のほか、夏季に需要の多いルームエアコンを中心とした空調・家電機器と冬季に需要の多い暖房機器を取り扱っているため、業績に季節的変動があります。売上高及び利益は、暖房機器の割合が高い第3四半期に増加する傾向にあります。

製品種類別売上高構成比



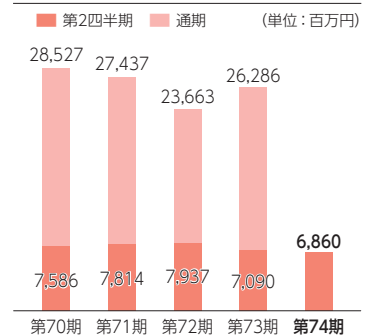
### 暖房機器

暖房機器の売上高は、6,860百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

需要期に向けて、寒冷地向け石油暖房機や石油ファンヒーターなどの提案活動を行いました。しかしながら、販売においては、9月中旬から気温が高めに推移したこともあり、暖房機器全体は前年同四半期を下回りました。



暖房機器の売上高推移(連結)



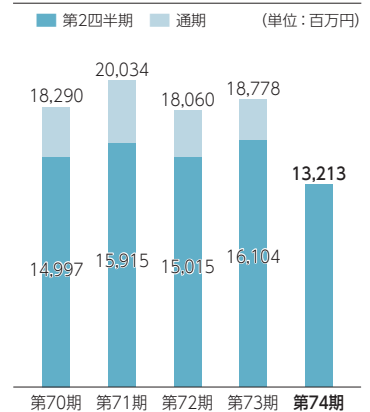
### 空調・家電機器

空調・家電機器の売上高は、13,213百万円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

ルームエアコンは、熱交換器洗浄機能や「コロナ快適ホームアプリ」による遠隔操作を可能としたセパレートタイプのほか、冷房専用タイプやウインドタイプなど特色ある商品ラインアップの提案活動に注力しました。しかしながら、販売においては、メーカー間の販売競争の激化や昨年支給された特別定額給付金による特需の反動、8月以降の気温が低めに推移したことなどが影響し、ルームエアコン全体は前年同四半期を下回りました。また、除湿機は本格的な梅雨の到来や部屋干し需要の増加などもあり、前年同四半期を上回りましたが、空調・家電機器全体は前年同四半期を下回りました。



空調・家電機器の売上高推移(連結)



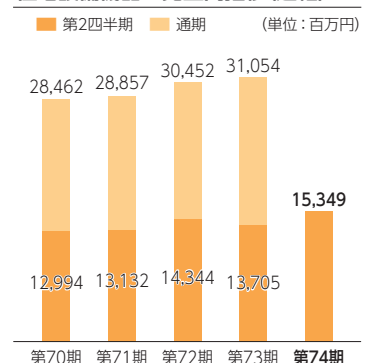
### 住宅設備機器

住宅設備機器の売上高は、15,349百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

主力商品であるエコキュートは、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及や買い替え需要が拡大する中、省エネ性に優れた最上位機種を軸に販売活動を進めたほか、商品の生産・供給に柔軟に取り組んだことで好調に推移しました。また、石油給湯機は高効率・高付加価値機種の拡販に取り組み前年同四半期を上回ったほか、住宅市場の一部回復も販売の後押しとなり、住宅設備機器全体は前年同四半期を上回りました。



住宅設備機器の売上高推移(連結)



※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。  
 なお、第70期から第72期については「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しておりません。

# コロナのブランディング

「暖房のコロナ」から、年間を通じた「快適創造のコロナ」へ成長するため、ブランドスローガン「つぎの快適をつくろう。CORONA」を制定し、2019年からリブランディングに取り組んでいます。

2021年春からは、エアコン事業の拡大に向けて統一したメッセージを打ち出すため、エアコンブランド「ReLaLa（リララ）」を制定し、全シリーズに展開しています。

今年5月に公開した“つぎの快適”を追求するコロナのものづくりを発信する特設サイト「CORONA快適LABO（ラボ）」には、新たに「暖房研究所」が公開されました。ぜひご覧ください。



## TOPICS

### 1 2021年度暖房商品の紹介

2021年度モデルの石油ファンヒーターは、最上位機種「WZシリーズ」のフルモデルチェンジを行いました。昨年度モデルと比べて消費電力を約60%削減したほか、換気後に低下した室温をすばやく回復させる機能を搭載、ルーバーの大型化によって遠くまで温風を届けることができます。さらに、外装に採用した木目調や細かい筋模様のヘアライン調、水平・垂直基調のデザインがインテリアに馴染むと評価され、「2021年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

また、石油暖房機に馴染みがない、若い世代などをターゲットにした取り組みを進めました。

8月にアウトドア用品総合ブランド「キャプテンスタッグ」とコラボした石油ストーブと石油こんろを発表しました。

10月には当社の通販サイト「コロナストア」限定の石油こんろ「Macoro（マコロ）」と反射型石油ストーブ「クラシックブラック」を発売し、シンプルなデザインでインテリアに馴染むと好評をいただきました。



### 2 ESGへの取り組み－女性活躍の推進

当社では中核人材の登用等における多様性の確保を推進しております。特に、女性の活躍については、社員の意識づくりや会社の風土づくりを目的に「女性活躍推進プロジェクト」を立ち上げ、その推進を図っております。また、意識づくりの一環として全ての管理職を対象とした「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」に関する研修会も開催しました。

女性が活躍できる職場環境の整備をはじめ、シニア活躍の推進など、誰もが活躍できるような会社を目指しています。





# 会社概要／株式情報

## ■ 会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 株式会社コロナ  
本社 〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号  
TEL.0256-32-2111 (大代表)  
代表者 代表取締役社長 小林 一芳  
創業 1937年4月  
会社設立 1950年7月  
資本金 74億4,960万円  
事業内容 暖房機器、空調・家電機器、住宅設備機器の製造販売  
連結従業員数 2,292名  
工場 三条工場、柏崎工場、長岡工場  
全国営業拠点 68ヶ所  
連結子会社 12社  
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

## ■ 役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	小林 一芳	取締役	稲田 昭弘
代表取締役副社長	大桃 満	取締役	高木 修哉
専務取締役	内田 衛	取締役	西村 常男
常務取締役	小池 仁	取締役	杵渕 学
常務取締役	西山 昭彦	取締役(監査等委員・常勤)	杉本 昌義
取締役相談役	内田 力	取締役(監査等委員・社外)	丸山 結香
取締役	内田 高志	取締役(監査等委員・社外)	小出 忠由
取締役	塩田 清貴		

## ■ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 90,000,000株  
発行済株式総数 29,342,454株  
株主数 9,731名

## ■ 大株主 (2021年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社コロナ興産	11,057	37.96
公益財団法人 内田エネルギー科学振興財団	2,359	8.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,418	4.87
株式会社第四北越銀行	1,318	4.53
コロナ社員持株会	1,037	3.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	452	1.55
内田 力	380	1.31
外山産業株式会社	365	1.26
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	289	0.99
ダイヤモンド電機株式会社	275	0.94

(注) 持株比率は自己株式(212,194株)を控除して計算しております。

## 株主優待

クオカード贈呈による株主優待を実施しています。毎年3月31日現在の株主名簿に記載されている株主様を対象に、贈呈させていただきます。



※デザインはイメージです。

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上所有の株主様に対し、以下の基準で贈呈させていただきます。(年1回)

100株以上500株未満	500円
500株以上1,000株未満	1,000円
1,000株以上5,000株未満	3,000円
5,000株以上10,000株未満	5,000円
10,000株以上50,000株未満	8,000円
50,000株以上	10,000円

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
単元株式数 100株  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
その他必要があるときはあらかじめ公告して定めます。

配当の基準日 期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部  
公告方法 当社のホームページ  
(<https://www.corona.co.jp/>)に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

証券コード 5909

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 (フリーダイヤル)0120-288-324

### 株式に関する手続きのお問合せ先

証券会社に口座を開設されている株主様 ▶ 口座を開設されている証券会社にご連絡ください。

証券会社に口座を開設されていない株主様 ▶ みずほ信託銀行 証券代行部  
TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)

IR情報詳細は  
コチラ



適切に管理された森林からの原料を含むFSC®  
認証紙と植物油インキで印刷しています。

